

## 第3次稲敷市総合計画策定支援業務 第3回審議会での主なご意見

### (1) 将来指標について

- ・推計人口が2060年19,620人だ、これは人口は転入超過、そして出生率も上がり、子どもが今の約1.5倍増えるという計算でも2万人を切るということ。それを理解する必要がある。
- ・しかし、今後お年寄りがどんどん増えていく都市になるか、お年寄りも減り出す稲敷市のどちらがよいかという選択であり、お年寄りも減り出す稲敷市のほうが将来性は豊か。
- ・介護医療の予算が減るため、若い人に活躍してもらう土台が次第に整っていくので先に再生する。
- ・2万人は切るけれども中身を見てみると次第に若い人の比率が上がっていく状況が実現できると良い。人数は少ないが筋肉質なまちになっていくということ。
- ・今人口が増えている都市を見て、稲敷市でも鉄道を伸ばそうといった議論が出てきますが、遅れて高齢者が多いまちになるだけなのでやめた方がよい。
- ・赤ちゃんが半分以下に減ってしまった日本において、稲敷市の中でこの人口ビジョンの通りに若い人が少し戻り、かつ子どもも生まれやすくなってくると稲敷市は2万人ぐらいの人口だが非常に筋肉質の強い地域になる。

### (2) 重点プロジェクトについて

#### ①成果目標について

- ・合計特殊出生率を0.99から1.2にするのはかなり高い目標。だからこそ最初に持ってこるのが相応しいのではないか。
- ・合計特殊出生率などはすべてのプロジェクトに関わると思う。成果目標は5つのプロジェクトに対して縦割り感のない目標を掲げても良いかと思う。

#### ②土地利用について

- ・基本構想の中で土地利用の内容が多くを占めているが、重点プロジェクトには土地利用の内容が特段書かれていない。

#### ③子育て支援・教育について

- ・安心して子どもを産める環境づくりも大切だと思う。市内に産婦人科や助産院がないのは仕方がないことだとしても、周辺の産婦人科などへの通いやすさや産婦人科に行く前に相談できる体制などがあると良いと思う。
- ・子どもはすぐに成長するためどんどん問題も変わってくる。子育て支援については、教育委員会や福祉も含め全てに対応できるスピード感のある仕組みをつくると良いかと思う。

#### ④観光について

・重点プロジェクト1に観光を持ってきたのはとても良いと思うが、ターゲットが見えてこない。稲敷市は国際便が飛んでいる成田空港に車で30分圏内ということや霞ヶ浦もあり日本でもそう多くはない観光資源を持っている。それを活かして海外の客をターゲットにした開発をやるべきだと思う。英語教育にもつながる。

・最近ではインドやベトナム、ミャンマーなどからの観光客が多い。成田が拠点になると考えている。観光収入だけではそれほど大きくないが、観光によって別の産業が栄えていくと良いと思う。

・インバウンドなど明確に記載があると良いと思う。また、成田を拠点とした記載があると英語教育とも紐づき、他のプロジェクトとの関連性も出てくる。

#### ⑤行政改革について

・重点プロジェクト5のめざす姿では「ヒト・モノ・カネ」と言いながら具体的な取組がはっきりしていないのではないかと。

#### ⑥災害時における福祉施設の対応

・基本計画の中には医療・救急体制の充実が書かれているが、体制の強化、特に非常時にける体制は福祉施設においても同様に求められている。